



第 39 号

編集発行所
〒990-2492
山形市鉄砲町一丁目15-64

山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
電話 023-641-3504



アカシアの道に風薫り

会長 武田 美津子 (昭和39年卒)

今年度は、母校の創立115周年目にあたります。そして、山形西高等学校となつて第60回目の卒業生を送り出す年でもあります。

改めて歴史を紐解いてみますと、歴史と伝統を受け継ぎながら西高の変貌に感無量の想いしております。

新校舎になり中庭が整備されました。その後は道路拡張により校門も新しくなり、昔の面影は有りません。アカシアの木は今、高さ10メートル、周囲1.2メートルの幹になって

います。花粉が飛んで教室の窓を開けられないという理由で花を咲かせないよう探しているという事です。60年前にアカシアやポプラ、

生徒が持ち寄った樹木を植樹

したときの想いや校歌に「アカシア」の言葉を入れてほしいという願いが叶えられて来たという経緯があつたことを忘れてはならないと思

いました。そこで、その情景を大切にしたいという想いが募り、校長先生にアカシアの植樹をお願いしましたところ快諾して

いただきました。西高60年の節目の年でもありますので、校友会と一緒に

なつて植樹をすることになり、6月下旬に「アカシア会館」の側に4本植樹いたしました。また、嬉しいことにグラウンド側の6本のうち1本は花

を咲かせて西高生が眺められ

るようにしていただきました。先輩の皆様と同じように、学び舎のアカシアの木を懐かし

い光景として思い起こしていただけるのではと期待しております。

数年後には、同窓会員の皆様、アカシアの花咲く季節に母校と「アカシア会館」を訪れて下さることも夢ではないかもしれません。

自分達の夢を追うことが何らかの社会貢献につながるような生き方を目指す「志教育」を今年も推進します。

西高リケジョプロジェクトは山形大学や東北大学と連携しながら理系生徒の進路選択



思いやりと志を持って 山形が大好きな西高生を育てる

校長 阿部 和久

嚶鳴同窓会の皆様には日頃から母校に対して多大なるご

支援助とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

創立115周年を迎えた本校は、昨年山形県教育委員会

から進学指導重点校の指定を受け「思いやりと志を持つて

山形が大好きな西高生を育てる」という方針の下、伝統と

革新を大切にする教育に日々邁進しています。

○平成25年度重点事項

・ 持続する志

自分の夢を追うことが何らかの社会貢献につながるよう

な生き方を目指す「志教育」を今年も推進します。

・ 考える力(複眼を持つ)

ものごとを常に二つ以上の立場から考えて論理的に思考し表現する力を育てます。

・ 親切のパラドックス

人に親切にする人こそが自ら幸せになる、ということを実感できる教育を進めます。

* 師弟朋友の睦まじい集いの心と切磋琢磨を象徴する嚶鳴

精神を全ての教育活動の基盤として、これまで進めてきた

新たな取組が少しずつ根付くうとしていきます。

西高リケジョプロジェクトは山形大学や東北大学と連携

しながら理系生徒の進路選択

幅の拡大を支援しています。

ボランティア活動では石巻の仮設住宅を訪問し、交流活動を引き続き行います。またスコツパーズは近隣の住宅な

どの雪片付け、一般生徒は学校周辺のごみ拾いや草取りを続けています。

西高で聞く講演会や研修会などはできるだけ近くの学校等にも公開し、本校のみならず山形の教育水準が向上する

よう努めているところです。毎日の雑巾がけでいつもび

かびか光る母校山形西高では、全力少女たちがさわやかな笑顔で皆さんを迎えてくれます。



平成25年度 総会のお知らせ

大勢の方のご参加をお待ちしています。

- と き 11月17日(日) 午前10時30分開会
- と ころ パレスグランデール (山形市荒瀬町一丁目17-40)
- 会 費 5,000円
- アトラクション 日本舞踊 藤間 松廣 (須藤 泉・昭和50年卒) 地方長唄 吉住小登江 (荒井光子・昭和35年卒)社中
- チケット購入のお問合せ TEL 080-5749-0381 (同窓会総会当番学年/チケット担当)



嚶鳴のつながりに感謝

平成24年度 嚶鳴同窓会総会

平成24年11月11日(日)、パレスグラウンデルに於いて嚶鳴同窓会総会が開催され、総勢530名の皆様にご出席いただきました。

総会は、武田美津子会長、阿部和久校長先生のご挨拶で始まり、議事は清野和子副会長の進行の下、厳正に滞りなく進められました。

引き続き行われた祝賀式典では、吉村美栄子山形県知事から、県内で感じる嚶鳴の絆の強さや、ご公務の様子についてお話しいただきました。恩師の北原章先生には、当学年の在学当時の思い出や近況を話していただきました。



同窓会総会

この度祝賀を受けられた方は米寿9名、喜寿74名の皆様でした。米寿代表の市村ひで子様から、祝賀の喜びと感謝の言葉をいただきました。ステージでの凛としたお姿を拝見し、私も元気に素敵に年を重ねていきたいと強く感じました。続いて喜寿代表の平田洋子様は、戦後の学制改革の中、南高1年で入学し、西高3年で卒業と思いきや卒業式は南高で行われると言われ、



吉村美栄子山形県知事の挨拶

当時と変わらない大きなお声と力強いお姿に、20数年前の日本史の授業を懐かしく思い起こしました。東京支部の笠井ひで子支部長からは、上京した若い同窓生を招待したウエルカムパーティーなどの活動の様子をお話していただきました。



アトラクションの斯波景子さん

愕然として参加したお話をしてくださいました。その後西高に戻って自分達で改めて卒業式を行ったとお聴きし、西高への誇りと愛校心を強く感じました。

アトラクションは、都内で活躍しているシンガターの斯波景子さん(平成4年卒)によるピアノ弾き語りでした。美味しい料理をいただきながらの演奏は、まるでディナーショーのような贅沢なひとときでした。アンコールの「上を向いて歩こう」では、斯波さんのリードで皆で楽しく声を出しました。

総会の最後には嚶鳴合唱団

久しぶりの再会、ココロひとつ

嚶鳴同窓会東京支部 <http://www.oumei.jp>

「はい、皆さん両手を広げて下さう。ホテルオークラの宴会場がさながらフィットネスクラブのような状態に。平成25年の東京支部総会では、準備学年にフィットネスインストラクターがいたことから、エンターテインメントは「座ったままでエクササイズ」と称して出席者全員による参加型のエクササイズとなりました。当日285人、70歳以上の年齢差のある出席者が一糸乱れず身体を動かす様は圧巻でした。インストラクターも普段のレッスンは違う会場からの躍動感を感じ、感動が身体の底からこみ上げてき

たそうです。エクササイズの途中で取り上げた曲「想〜ココロひとつ〜」に寄せて行った東日本大震災へのチャリティー募金は、153,290円の金額が集まりました。もう一つのエンターテインメントは毎年恒例の東京嚶鳴女声合唱団の歌声です。「花は咲く」など4曲をご披露いただき、会場は美しい日本語の響きに耳を澄ませました。

また、歓談中には朝のTV小説「あまちゃん」にご出演中の渡辺えりさんのお話というサプライズもあり、盛りだくさんの内容で3時間半があっという間に過ぎて行きました。

に美しい歌声を聴かせていただき、出席者全員による校歌斉唱で閉会となりました。私達当番学年の平成4年5年卒(名前を「おとめ会」と改め楽しく活動継続中)が一丸となって総会を終えることができましたのも、同窓生の皆様のおかげです。温かいご支援に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。(平成4年卒 鈴木 千尋)

準備学年は卒業以来初めて集まったメンバーがほとんどでしたが、高校時代には接点のなかった者同士がそれぞれの能力を活かして総会の準備・運営に関わり、その一人ひとりの「私も何かお手伝いを…」という奉仕の気持ちが、当日の成功をもたらしたのだと思います。

恩師、山家貴代先生のお話にありましたように「同性として時を経て様々な経験を重ねた後に、このように同窓会という機会に集まって話が出ることは非常に喜ばしい」ことであり、参加者全員が山形西高の卒業生であることに改めて誇りを感じた総会となりました。(昭和61年卒 伊関美奈子)



サプライズ 渡辺えりさんのお話



手話ダンス「想〜ココロひとつ〜」



山形西高リケジョプロジェクト

昨年度から学年・進路・理科が連携して、理系生徒の進路選択の幅を広げることと西高生の理数能力の底上げを目的として、「山形西高リケジョプロジェクト」を立ち上げました。(リケジョ＝理系女子)



昨年度は、山形大学と東北大学の研究室を訪問し、最新の研究内容を学んだり、設備や実験機器の見学、模擬授業・生徒実験など多くの経験を積ませていただきました。また、理科や研究の好きな生徒の為に、放課後実験倶楽部を立ち上げ、基礎実験や自由研究を行いました。これらの活動に際しては、後援会や同窓会をはじめ山形県や科学振興財団からの支援をいただきました。

今後も、さらに活動内容を充実させ、世界を視野にいられて活躍し、社会に貢献できる人材を輩出したいと考えています。



平成24年度

在校生の活躍

<インターハイ>

テニス部

ダブルス 相羽枝莉子・清水 優
シングルス 清水 優

陸上競技

走幅跳 青木 成美

<国民体育大会(岐阜県)>

走幅跳 青木 成美

<日本ジュニア陸上競技選手権大会>

走幅跳 青木 成美

<全国高等学校総合文化祭>

美術 伊藤 芽衣
放送 石山 朋実・丹野あゆみ
囲碁 安達 和叶
弁論 阿部飛香莉

<NHK杯全国高校放送コンテスト>

アナウンス部門 石山 朋実
朗読部門 渡邊 桃香
ラジオドキュメント部門
代表 山口恵里奈

平成25年度

<県高校総合体育大会>

卓球部 シングルスベスト12 遠藤 萌恵
(東北大会出場)

陸上競技部

5000mW 第1位 荒木 麻菜
400mH 第1位 峯田 麻美
400m 第2位 峯田 麻美
女子4×100mR 第5位

(以上東北大会出場)

登山部

女子団体 最優秀 (インターハイ出場)

新体操部 団体 第3位

水泳部

200m個人メドレー 第2位 片桐まどか
400m個人メドレー 第3位 片桐まどか
400m自由形 第4位 松本さとみ
800m自由形 第4位 松本さとみ



200m自由形 第8位 野口 桃香
400mリレー 第5位 (以上東北大会出場)

なぎなた部

団体 第2位

個人 演技競技

第1位 酒井 亜実・半沢美保子
(インターハイ出場)
第3位 鈴木さくら・木村 日和
(東北大会出場)

個人試合

第3位 酒井 亜実 半沢美保子
(東北大会出場)

テニス部

団体戦 準優勝 (東北大会出場)

個人戦 シングルス 準優勝 清水 優
(インターハイ・東北大会出場)
ダブルス 第3位 松村・清水
(東北大会出場)

サッカー部 優勝

<東北高校総合体育大会>

サッカー部 第2位 (インターハイ出場)
テニス部 シングルス 第2位 清水 優

<山形県放送コンテスト>

アナウンス部門 第4位 菊地 成美
朗読部門 第3位 加藤 志織
ラジオドキュメント部門
第1位 「夢持(ゆめじ)」

創立115周年記念 アカシア植樹式



武田会長と小林校友会会長の植樹

山形西高の校歌の3番に「アカシアの道」という歌詞があります。しかし、生徒が通る道には「アカシア」はなく、創立115周年を記念して、アカシアを植樹することになりました。6月27日17時10分より「創立115周年記念アカシア植樹式」が行われ、同窓会の武田美津子会長、佐々木智子副会長、清野和子副会長をはじめ校長、職員、生徒が参加しました。

植樹をした場所は、アカシア会館南側通路及び東側駐車場で、式は、同窓会会長挨拶、校長挨拶と続き、最初に「アカシア会館南側通路」に「同窓会会長と校友会会長」「同窓会副会長と校友会副会長」「同窓会副会長と校友会副会長」で、3本のアカシアの苗を植樹しました。



放送部・坂上さんの朗読

次に場所を移動し、「アカシア会館東側駐車場」に、さらに1本のアカシアの苗を「同窓会会長と校友会会長」で植樹しました。植樹後セレモニーとして、西高文芸部が創作した詩を放送部2年の坂上藍さんが朗読しました。そのあと、校歌を音楽部部員と参加した全員で合唱し閉会しました。

校歌の合唱



(校内理事 昭和63年卒 楯郁子)



前列左から3人目が諏訪先生
(みよし会3年1組クラス会 平成24年10月28日)

昭和31年4月、日曜日の早朝山形駅に降り立った時、吐く息は真冬のように白かった。渡辺隣校長が自ら自転車を出迎えて来て下さった。私は重い荷物を片手に自転車の荷台に跨った。「未だ君の下宿は決まっています。見つかるまで、うちに泊まってくれ」
未広町の校長官舎に1週間もお世話になった。ご家族は温かく迎えて下さったが随分ご迷惑なことだったろう。
下宿先は文化財になるような珍しい古い武家長屋で200年は経っているのか。まるで時代劇に出てくるような造りであった。外と内を仕切るものは、木の兩戸と障子だけ。昔の侍家族の生活が偲ばれた。私の部屋はその北側に増築された2階の10畳間で2畳分の広い床の間は天理教の立派な祭壇になっていた。この主人のばんちゃんは天理教の信者で、神棚にはお神酒を始め色々なお供え物があつた。

断つたら「良いところに下宿したなあ、俺と代わってくれ」。一見豪放磊落に見えて気配りの行き届いた校長だった。
職員室に校長が入って来ると、ストープの周りはいつも笑い声が絶えなかった。私の山形赴任が話題になった時、校長は「諏訪君を甘言をもって欺き東京から山形へ拉致した」。確かに大学の同窓会館での初対面で、西高は誇り高き伝統ある日本一の女子高であると酒杯を手に熱く語っておられた。いつの間にかその切れ味のよいユーモアのある人柄に魅せられていた。未だ見ぬ東北への好奇心もあつた。

先生 よえんぐですか

回想・西高に赴任した頃

諏訪 秀隆

(昭和31年4月〜38年3月在職)

畏れ多くもその祭壇の下で寝起きすることになったのだが、お供え物を狙つてか、大きな鼠が床の間を駆け回るようになった。私は袋を使ってその鼠を逮捕してお手柄であった。今から思えばその褒美だったのか、出勤前の朝の食膳に大きめのお銚子が1本ついた。「先生、家じゃお神酒飲める人いねもんで飲んで行でけらっしゃい」。朝の職員室で校長に実はこういうわけで朝から一杯入っちゃったんですと

赴任の動機は単純素朴、「あの校長、面白そう」であつた。「とにかく生徒を可愛がつて英語を一生懸命教えればそれでいいのだ」単純明快なご教示を賜つた。最初の出会いが西高の「中興の祖」とも言うべき渡辺隣校長であつたこと、キャリアの出発点が山形西高であつたことは幸運であつた。
学校は飛躍の気運に満ちていて、個性豊かな先生たちと清き矜持の生徒たちが共に気を合せてよい学校づくりに励んでいた。ためになることなら少々の勇み足、脱線はお咎めなし、先例に囚われずどんどんやれやれの自由な雰囲気があつた。職員室の窓から秋の澄みきつた空を眺めて、生徒は頑張つて勉強している、せめてこんな素晴らしい日は遠足にしたいね、と冗談半分に言つたら、それを聞いて武田陣太鼓がどんと鳴つた。翌日は本当に全校遠足となつた(国語の武田唯雄教頭はよく威勢のいい発言を得意とした。校長はそれを武田陣太鼓と称した。通称「武陣さん」)

「雪の降る街を」を思わず口ずさんでいた。運動会・部活動・修学旅行・クラスの出し物の競演・芋煮会・遠足・登山・蔵王スキー・せつかく山形に来たのだからと生まれて初めてスキー板を履いた。高橋元四郎先生は、いきなり私を地蔵まで登らせて、一氣



同僚の先生や生徒と(左端が諏訪先生)

に唐沢経由でゲレンデまで滑降させた。私は駆けまわつて新調のスキー板も私も満身創痍になつたが、このスパルタ手ほどきのお蔭で何とかスキーヤーの仲間に入れてもらった。新米教師には何もかもが新鮮な体験、無我夢中で気が付いたら私の20代は過ぎていた。静岡県からお誘いが来た。7年間いろいろお世話になりました、とひとまず左様ならと手を振つた。しかし絆は固く最近によくクラス同窓会など、招待されると胸をときめかして馳せ参じている。八十路を過ぎると今生の別れを惜しんでか、各種の同窓会の招集も頻繁になつてきた。妻(要介護4)をショートステイに預けて律儀に出席している。週末には娘達も交替で来てくれるし、種々の福祉サービスを利用して居宅介護にこだわつてきた。介助者は心身健康でなければ務まらない。専業主夫、庭仕事、水泳、ヨガ体操などを動かすことと居眠りを楽しんでる。お蔭で今のところ元気で幸せです。

道木並

昭和56年卒 神保 由美

遠く朝日連峰へと続く山中、林道から杉林に分け入つた奥山の一角に、その石碑はある。杉林に溶け込む自然石の碑には「草木塔」の文字。林業を生業として生きた父が、自分の山に草木塔を建立したのは、私に長男が生まれた頃だった。

草木塔を建てることを父がいつ頃から考えていたのかを私は知らない。母の実家のある米沢市入田には国内最古と言われる草木塔が残っており、おそらくは、やはり林業を営んでいた母方の祖父とともにその碑を目にしたことがあつたであろうから、その頃に萌した思いだったのかどうか。

先代、先々代の植えた杉を手入れし、切り出し、新たに植林し、雑木林を守つていく営みの中で命の縦糸と横糸を織りながら、父は、生かされてある命や自然への深い畏敬の念を、いつまでも残るものに込めたかつたのではないだろうか。

東日本大震災の一月前に父はこの世を去つたが、生前、あと二基の草木塔を建てる場所はもう決まっているのだと語つていた。それがどこであつたのか、父の後を継いだ弟は、もしかしたら「ここだ」と思う場所にたどり着くのかも知れない。

大江町から西高へと、左沢駅発6時36分発の列車で通う私を支えてくれた父、囁き声合唱団がバチカンや吉林で演奏の機会を得たときには、世界に視野を広げるべしと送りだしてくれた父、女性として、自己実現を果たしながら明るくしなやかに生きることを求め、励ましてくれた父が残した草木塔が、故郷の山中に、私の胸の奥に、木漏れ日を浴びて建っている。



みやぎ・やまがた女性交流機構の皆さまと
(前列右から2人目が井上さん)

東京支部に所属したまま、山形に逆単身赴任して15年が経ってしまいました。

西高在学中に亡くなった父

何歳でもチャレンジは可能〜天命と生きて〜

昭和41年 井上 弓子

の残した事業を当時39歳の母が引き継ぎ、25年経った頃から役員達の「帰れコール」が頻繁に届くようになりました。決心するまでに大分時間がかかりましたが、主人の「君ならできる」という声に後押しされ、自宅のある横浜から山形に引っ越したのが50歳。それまで代表世話人をしてきた難病児・障害児の親の会「よつばの会」を、手をあげてくれたおかあさんにバトンタッチをして、一からの経営の

勉強の始まりでした。平成15年、母が大病をして復帰不可能となり代表取締役社長に就任。前年はITパブルがはじけ陣頭指揮をとるというスタートでした。それから8年間社長業に携わり、その間にはリーマンショックがありました。役員・社員一体となつてなんとか乗り越えることができました。

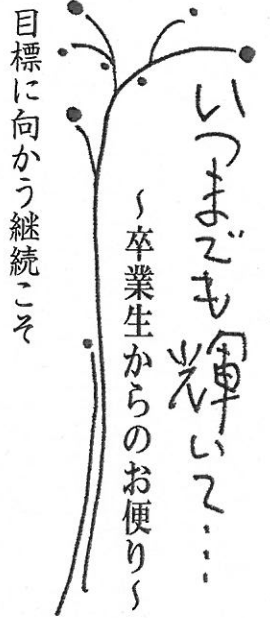
2年前に会長職に退きましたが、昨年思いがけなく山形商工会議所副会長というお役を仰せつかり、女性会の会長との兼務で、女性経営者の方々のお役に立とうと努力し

ている昨今です。少子化に伴い女性の活用が話題になるのですが、女性も機会を捉え積極的にチャレンジし、学んでほしいと思っています。女性の視点ならではの気づきで新しいビジネスを創業するというチャンスがまだまだある筈です。

2050年には日本の総人口が1億人を割り込み、1人あたりのGDPも18位となる予測があります。子供たち、孫たちが少しでも暮らしやすい世の中であるように、今私たちができることをやり残さないよう頑張ります。



昭和30年代〜の顧問、昭和57年〜の顧問の先生をお招きして、「嚶鳴ママソフト」の先輩方、「ヤング嚶鳴」が集った新年会(今年1月)



昭和28年 結城 静枝(花柳衛優)

舞踊研究所を創設して57年の歳月が流れました。この舞踊人生の形成こそ、修業のため上京入門した花柳徳兵衛師あつてのことです。師は古典舞踊のみならず、当時初と言われた交響楽の創作群舞など、数々の芸術祭受賞作品を発表されました。

進まず寝れない日が続き、創作の大変さに涙しながら、常に崖っぷちの繰り返しでしたが、後もどりでできない私を支えたのは門下生でした。私の心を思い無理な演出にも文句一つ言わず付き合ってくれたのです。蔵王曙光・最上川残照・花の二章(駒草と紅花)阿古耶の松・駒姫・紅花太鼓他、おかげ様で諸先生方の高い評価をいただき、さまざまな表彰と共に大切な宝となり大きな財産となりました。

活動をさせていただけたのも、常に応援して下さいました皆様方そして菅野節子会長をはじめとする昭和28年卒「ふたば会」の仲間の温かい声援と見守りがあればこそと、日々の感謝を忘れず、これからはゆるやかに指導者育成に力をそぎたいと思います。



清元「曾我菊」大磯の虎御前(歌舞伎座)

「想い」、繋げて〜嚶鳴ソフトボールクラブ30周年〜

昭和58年 須藤 祐子

私たちの名は「嚶鳴ソフトボールクラブ」。西高ソフト部の卒業生で結成した、社会人ソフトボールクラブチームです。始まりは昭和55年。第1回ママさんソフトボール2チ一杯に出場するべく「嚶鳴ソフトボールクラブ」が発足されました。メンバーは、昭和40年、41年卒の有志。県大会で優勝し、大阪での全国大会に出場しました。その後、他の卒業生に声をかけ、いろいろな大会に出場し腕を磨きました。試合をするだけでなく、ソフト部卒業生の親睦を深めるため、毎年1月に嚶鳴ソフトボールクラブ新年会を開催するまでに至りました。この会は現在も続いており、今年1月、30周年を迎えました。

このように、30年前に集い始めた先輩方は、私たちが高校現役の時、大会前の私たちにためにバッテリーングピッチャーを買って出てください、練習台となつて下さいました。そして今、あの頃の先輩方の年齢に自分達達しています。

あの頃高校生だった私は、現在「ヤング嚶鳴ソフトボールクラブ」として、西高のピロティーをお借りして練習し、年数回の大会に仲間と共に出場しています。あの頃の先輩方の「想い」を受け継ぎ、上は48歳から下は18歳までの30名以上が所属する「ヤング嚶鳴」として。

「嚶鳴ママソフト」、「ヤング嚶鳴」、「西高ソフト部」、この三代を繋いでいる「想い」。それは、「青春時代同じ釜の飯を食った仲間」と「ソフトボール」が大好きだということ。時代は違つても、西高のグラウンドで汗を流した仲間と真つ白なボールを追い続けることで、私たちはこの「想い」を次の世代まで繋ぎ続けていきます。



朝食の餅つき

朝の餅つき

ちなみに翌日の朝食は、宿の名物「つきたての餅」。還暦のお祝いにふさわしいごちそうでした。

どんなに年を重ねても、凍として若々しく生きる「嚶鳴の精神」は、しっかりと私たちのの中に息づいていることを確認できた学年会でした。

倒されました。

青木智子実行委員長の挨拶を聞いて驚いたことが二つありました。一つは、彼女の記憶力の確かさです。今日も吹雪であるが、卒業式も雪が降っていて寒かったこと。高校入試の作文の題が「受験の朝」で、その日も雪であったこと。

の宿の選定ではありませんか。宴会は大盛会。大いに食べて、飲んで、笑い、女子高生さながらに話は尽きませんでした。そして、向井和子さんの優雅なフラダンスが会に花を添えてくれました。

みなさんからパワーをいただき、高校を卒業してから42年の歳月を経て、今ここにいることの幸せを実感したところです。

私達の学年会

ReBorn ～輝く笑顔で生きる

昭和46年卒 野口 信子

平成25年3月2日。その日は名残雪とはほど遠い吹雪でした。みなさん無事に集まれるのかしら…と心配してバスに乗りま

したが、会場に着いたとたん、熟女の活気あふれる笑顔に圧倒されました。

もう一つは、「60才を祝う会 ReBorn」に込められた意味です。この日の宿「瀧波」は「いきかえりの宿」とも言われています。「出会う景色や味覚に心身生き返る」という願いを込めて浜田廣介氏が命名されたとのこと。まさに私たちの同窓会にぴったり

Information

- ★日野桜桃(稲村代直子)さん(昭和39年卒)が『生きる土台』(文芸社)を出版されました。
- ★庄司りつこ(庄司律子)さん(昭和19年卒)が句集『出羽山河』(本阿弥書店)を出版されました。



★武田葉月(武田郁)さん(昭和60年卒)が『横綱』(講談社)を出版されました。



★五十嵐佳子さん(昭和50年卒)がノベライズした『八重の桜』(山本むつみ作・NHK出版)が出版されました。



★新関さとみさん(昭和57年卒)が『おかずに美味しい田舎ごはん』(PHP研究所)を出版されました。

★水戸部春子さん(昭和30年卒)からの寄付金にて、ビデオ・三脚などを購入しました。



嚶鳴同窓会評議員

相澤 栄	顧問	高女36	長岡 玲子	評議員	昭和36	西高7	齊藤 明美	評議員	昭和54	西高25
中原えい子	顧問	高女42	古瀬 孝子	評議員	昭和37	西高8	齋藤 良枝	評議員	昭和55	西高26
佐藤 伶子	顧問	西高1	小松 節子	評議員	昭和38	西高9	神保 由美	評議員	昭和56	西高27
阿部 和久	学校長・顧問		岡崎 信子	評議員	昭和39	西高10	富樫由美子	評議員	昭和57	西高28
武田美津子	会長	昭和39	菅野 ふみ	評議員	昭和40	西高11	須藤 祐子	評議員	昭和58	西高29
佐々木智子	副会長	昭和41	渡辺三枝子	評議員	昭和42	西高13	丹野 文子	評議員	昭和59	西高30
清野 和子	副会長	昭和44	鈴木よし子	評議員	昭和43	西高14	會津菜穂子	評議員	昭和60	西高31
笠井ひで子	東京支部長	昭和44	佐藤 淳子	評議員	昭和45	西高16	桑山久爾子	評議員	昭和61	西高32
佐藤 陽子	新潟支部長	昭和34	青木 智子	評議員	昭和46	西高17	鈴木 淳子	評議員	昭和62	西高33
平田 洋子	評議員	昭和29	奥山 潤子	評議員	昭和47	西高18	武田 靖子	評議員	昭和63	西高34
渡辺 民子	評議員	昭和30	中山 恭子	監事	昭和48	西高19	武田由利子	評議員	平成元	西高35
松浦 英子	評議員	昭和31	山口 明子	評議員	昭和49	西高20	氏家美由紀	評議員	平成2	西高36
片桐ユキ子	評議員	昭和32	小笠原悦子	評議員	昭和50	西高21	川田 清子	評議員	平成3	西高37
山田 勝子	評議員	昭和33	田中 裕子	評議員	昭和51	西高22	鈴木 千尋	評議員	平成4	西高38
中村 郁	監事	昭和34	秋葉 弘子	評議員	昭和52	西高23	菊池 貴子	評議員	平成5	西高39
松尾 尊子	評議員	昭和35	富樫 京美	評議員	昭和53	西高24				

●平成26年度米寿・喜寿のお祝いについて

米寿…昭和19年高女

喜寿…昭和31年山形西高等学校

以上の方が該当学年となります。



平成24年度 主行事務報告

平成24年度事業報告

- 4月25日(水) 平成23年度会計監査
本校嚶鳴会館事務室
 - 5月7日(月) 第1回評議員会
本校嚶鳴会館食堂
 - 5月10日(木) 嚶鳴三会長会
 - 6月3日(日) 東京支部総会
ホテルオークラ東京
 - 6月20日(水) 創立記念式典、合唱コンクール
県民会館
 - 8月8日(水) 第2回評議員会・第1回クラス幹事会
本校図書館・101教室
 - 11月11日(日) 同窓会総会
パレスグランデール
- 平成25年
- 2月28日(木) 同窓会入会式
本校嚶鳴会館和室
 - 3月1日(金) 第59回卒業証書授与式
本校体育館
 - 3月27日(水) 三役引き継ぎ会
本校嚶鳴会館事務室

平成24年度 維持会費納入状況 (平成25年6月28日現在・納入者氏名省略)

◎平成24年4月1日～平成25年6月28日までに納入されたもの
※199クラス分 597,000円

◎平成22年度分
西高 昭和51年 4組 昭和61年 4組

◎平成23年度分
西高 昭和40年 1～6組 昭和51年 4組
昭和42年 2・3組 昭和61年 4組

◎平成24年度分
南高 昭和29年 1・5組 西高 昭和48年 2～6組
西高 昭和30年 1～4組 昭和49年 1・2・3・6組
昭和31年 1～4組 昭和50年 3・6組
昭和32年 1～4組 昭和51年 1～6組
昭和34年 1～4組 昭和55年 1～6組
昭和35年 1～5組 昭和56年 1～6組
昭和36年 1～5組 昭和57年 1組
昭和37年 1～5組 昭和58年 1～5組
昭和38年 1～5組 昭和59年 4組
昭和39年 1～5組 昭和60年 1～6組
昭和40年 1～6組 昭和61年 3・4組
昭和41年 1～6組 昭和62年 1～7組
昭和42年 1・2・3・4・6組 昭和63年 1～7組
昭和43年 1～6組 平成元年 1～7組
昭和44年 1～6組 平成2年 1～7組
昭和45年 1・2・3・5・6組 平成3年 1～7組
昭和46年 1～6組 平成4年 1・3・4・5・6・7組
昭和47年 1～6組

◎平成24年度分で平成24年3月31日までに前納されたもの
南高 昭和29年 2・4組 西高 昭和50年 5組
西高 昭和33年 1～4組 昭和58年 6組
昭和45年 4組 平成5年～24年 全クラス
昭和49年 4・5組

ご冥福をお祈り申し上げます

- 五十嵐(渡辺)喜久子(昭21高女)
- 大沼(大沼)八重子(昭15高女)
- 齊藤(後藤)みち子(昭48西高)
- 木村(木島)和子(昭37西高)
- 中井(大木)由美子(昭21高女)
- 平塚(元木)美子(昭18女師部)
- 田中(菅原)齊子(昭45西高)
- 高橋(高橋)奈保子(昭45西高)
- 新関(大場)洋子(昭44西高)
- 丹羽(海谷)幾子(昭35西高)
- 岡田(白崎)潔子(昭35西高)
- 安孫子(中村)初代(昭20高女)
- 渡邊(安達)雄子(昭48西高)
- 高田(加藤)幸(昭28西高)
- 田崎(田崎)サダ(昭27西高)
- 岸(岸)幸子(昭41西高)
- 安孫子(安孫子)ちよ(昭15高女)
- 黒坂(黒坂)頼子(昭36西高)
- 竹谷(工藤)たか(昭17高女)
- 横澤(新関)のぶえ(昭30高女)
- 勝見(岡崎)玲子(昭27南高)
- 大谷(青山)富子(昭27南高)
- 小池(志田)淳子(昭20南高)
- 小池(伊藤)千鶴子(昭27西高)
- 中村(小池)洋子(昭31西高)
- 高橋(遠藤)順子(昭47西高)
- 石崎(高橋)綾子(昭47西高)
- 須藤(須藤)一(昭47西高)

女医「志田 周子」さん (昭和3年・山形第一女学校卒)

その生き方を宝と捉え 映画化に向けた活動が始まりました!

昭和初期、陸の孤島と言われた無医村(現・西川町大井沢地区)に生涯を捧げた女医・志田周子さん。山形第一女学校を卒業された先輩です。このほど、その生き方を宝として捉え直し、映画化を行うことによって、後世に伝えていくとともに、地域や町、ひいては山形県の活性化に役立てていこうという動きが始まり、「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会」が設立されました。同会では、映画制作費の募金を募っています。詳しくはHPをご覧ください。

「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会」
(事務局/山形県西川町教育委員会 生涯学習課内)
ホームページ <http://www.sidachikako.com/>

編集後記

桜の花がばたん雪に震え、米国の超巨大竜巻や欧州の豪雨など異常気象が続いているこのごろです。今号では、静岡在住のなつかしい先生に寄稿していただきました。会報を通して、嚶鳴の絆が少しでも深まればうれいす。原稿を寄せてくださった皆様ありがとうございました。
(昭和37年卒 古瀬 孝子)



同窓会報編集委員

- 会報担当校内理事
小橋 池 亜 矢
- 会報編集委員(評議員)
古瀬 孝子
青木 孝子
古瀬 孝子
田中 裕子
富田 裕子
富田 裕子
富田 裕子
富田 裕子

- 小橋 池 亜 矢
- 叶 内 有希絵
- 武神 奥 小
田 保 山 松
靖 由 潤 節
子 美 子 子

同窓会報へ～
お便りお待ちしております

宛先/〒990-2492 山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内
嚶鳴同窓会報編集室「同窓生からのお便り」係
お願い/卒業年度、住所、電話番号をご記入の上お送りください。
問合せ/TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
山形西高校内 同窓会報担当まで
学校ホームページ/<http://yamanishi.webpage21a.jp/>



平成24年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部 (単位：円)

1. 前年度繰越金	12,600,318
2. 総会ご芳志	610,000
3. 総会残金	1,744
4. パッチ立替分 (24年度分)	80,000
5. 定期預金利息	1,618
6. 普通預金利息	829
合計	13,294,509

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部 (単位：円)

1. 25年度総会補助 (振込手数料含む)	300,525
2. 総会経費 (写真代・役員会)	239,514
3. 賀寿記念品代	367,500
4. 勤続10年表彰記念品	45,000
合計	952,539

3 差引残高 $13,309,176円 - 952,539円 = 12,356,637円$
 定期預金 7,400,000円
 普通預金 4,956,637円

平成24年度 経常費決算

1 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
入会費	690,000	690,000	0	3,000円×230人 (H23年度卒業生分)
会費	1,190,000	1,190,000	0	690,000円(3,000円×230人:会費20年分)+500,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	171,882	171,882	0	23年度残金
雑収入	18	103	85	預金利子
計	2,051,900	2,051,985	85	

2 支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	予算残額(△)	摘 要
総会費	790,000	790,000	0	総会、東京支部総会補助
会議費	200,000	195,109	4,891	評議員会、クラス幹事会など
後援費	60,000	31,000	29,000	会員後援費
記念品費	80,000	80,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	310,000	311,850	△1,850	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	17,554	△9,554	宛名ラベルなど
通信費	100,000	109,590	△9,590	連絡通信用葉書、切手、郵送料など
慶弔費	90,000	96,296	△6,296	弔電、祝電など
交通費	260,000	273,840	△13,840	三役交通費など
諸費	150,000	122,495	27,505	入会式経費、全国大会出場餞別など
予備費	3,900	0	3,900	
計	2,051,900	2,027,734	24,166	

3 差引残高 (総収入) 2,051,985円 - (総支出) 2,027,734円 = (残高) 24,251円

平成25年度 経常費予算(案)

1 収入の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘 要
入会費	690,000	690,000	0	3,000円×230人 (H24年度卒業生分)
会費	1,290,000	1,190,000	100,000	690,000円(3,000円×230人:会費20年分)+600,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	24,251	171,882	△147,631	24年度残金
雑収入	49	18	31	預金利子
計	2,004,300	2,051,900	△47,600	

2 支出の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘 要
総会費	820,000	790,000	30,000	総会、東京・寒河江支部総会
会議費	170,000	200,000	△30,000	評議員会、クラス幹事会など
後援費	40,000	60,000	△20,000	会員後援費
記念品費	80,000	80,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	310,000	310,000	0	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	8,000	0	宛名ラベルなど
通信費	100,000	100,000	0	連絡通信用葉書、切手、郵送料など
慶弔費	80,000	90,000	△10,000	弔電、祝電など
交通費	260,000	260,000	0	三役交通費など
諸費	125,000	150,000	△25,000	入会式経費、全国大会出場餞別など
予備費	11,300	3,900	7,400	
計	2,004,300	2,051,900	△47,600	